

猛き黄金の国

道

【法蓮坊】

一

本宮ひろ志



どお
れ

本山
妙
覺
寺





…
…
…
何かあつ



印可状を
もらい受けに
来たつ



印可状
…?
…?



本寺に
在する僧に
のみにな…







この似非者
があ
—っ

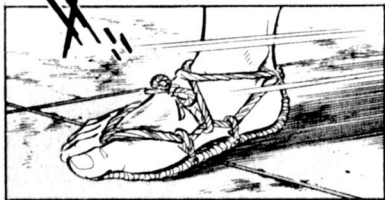
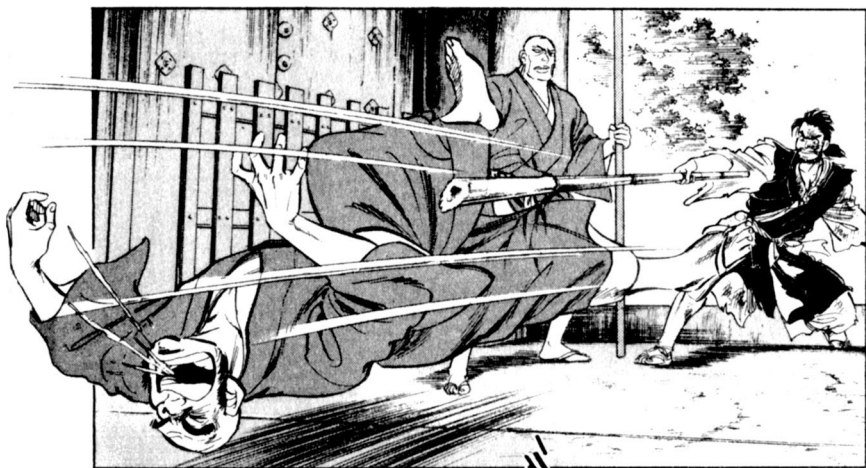


法蓮坊だ

法蓮坊が
現れた
ぞお



あいにく
だったな
俺は……







消せえ

水だ水だあ

本堂へ
火を回すなあ

殺せえーっ
俺を殺してみろ
罰を当てて
みんかあー!!



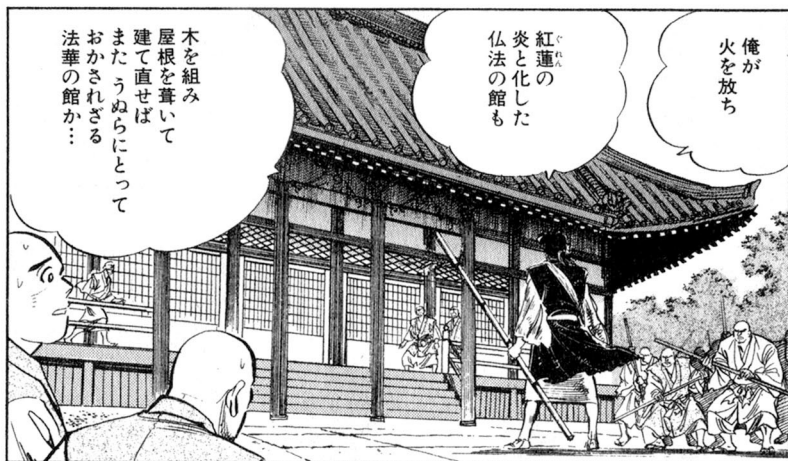
眞実
じゃあーっ
俺があっ!!

人が知りたきは
眞実じゃあ



真実を
ねじ曲げ
欺瞞で
組み直して

何が仏の道だ
仏があるなら
俺を殺して
みろ——っ



俺が
火を放ち

紅蓮の
炎と化した
仏法の館も

木を組み
屋根を葺いて
建て直せば
またうぬらにとつて
おかされざる
法華の館か！

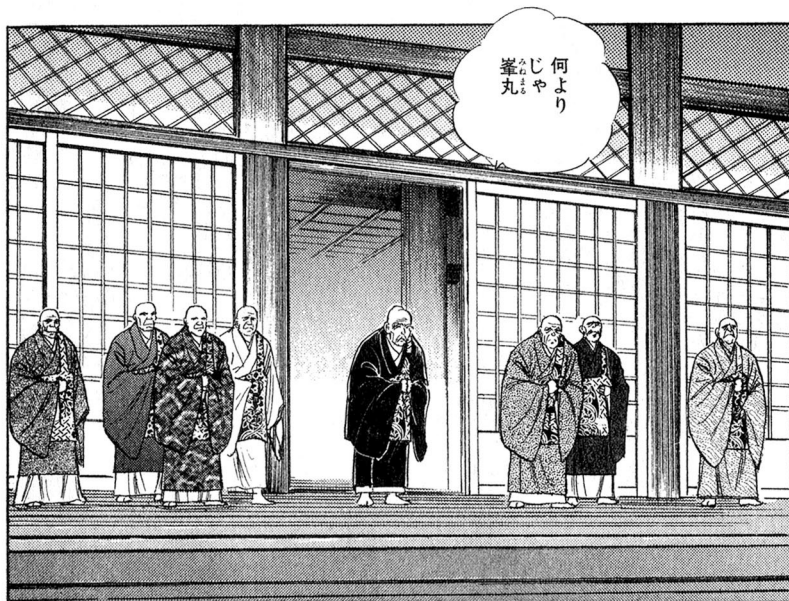


ほっ

法蓮坊
……
生きて
いたのか

おう
南陽坊

みてみい
俺はささまらの
おそれる仏罰にも
当たらずこの通り
元氣やでえっ



猛き黄金の国—道三—①



俺は
山へ入り
岩の上に坐を
組んで七年
うぬらに禁じられた
他の経を
読みつらねて五年

仏の館に
火を放ち
うぬらに
糞巻きにされ：
川に流されてもな
うぬらのおそれる
罰など当たらん



俺と問答を
戦えいっ

うぬらも
宗門を構えるなら
法論をもって



俺には
死ぬべき
業がない：
それがわかった：
その上で

俺の印可状を
俺が
もらいに来た

贗知識
があつ

法華門に
問答はない!!

だが聞いてやる
業とは
如何やあつ!!

その答えを
聞いた上で
貴様の業の元
今度こそ殺してやる

業とは

行為だ



人を殺すも
殺さぬも

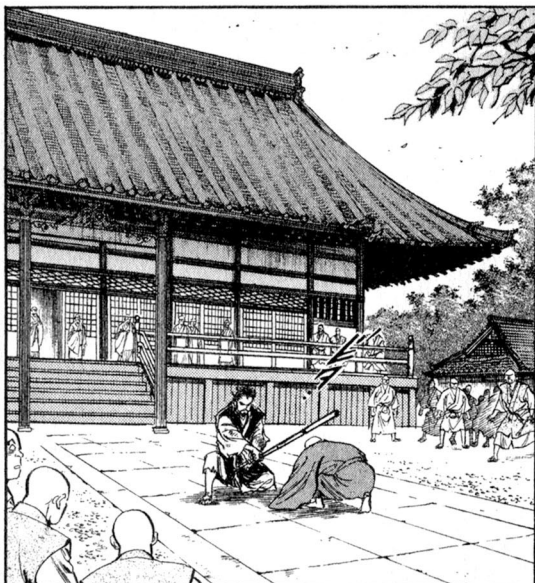


己自身の中に
在るといふ
事が真実



殺すから
業なん
じゃあつ!!

業を
背負ってるから
殺すんじゃねえっ





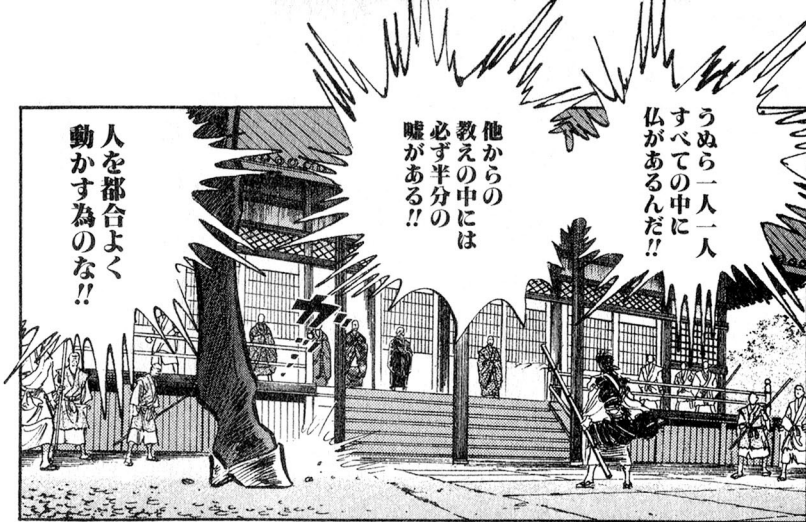
目を
さませいっ!!

人に従い
教え通りに
生きるが
すべてではない!!



学んだ事を
うぬらの
頭でもう一度
考えてみいっ

そこにあるは
生きている今に
必要なのが
仏法という事よ!!



うぬら一人一人
すべての中に
仏があるんだ!!

他からの
教えの中には
必ず半分の
嘘がある!!

人を都合よく
動かす為のな!!



兄上

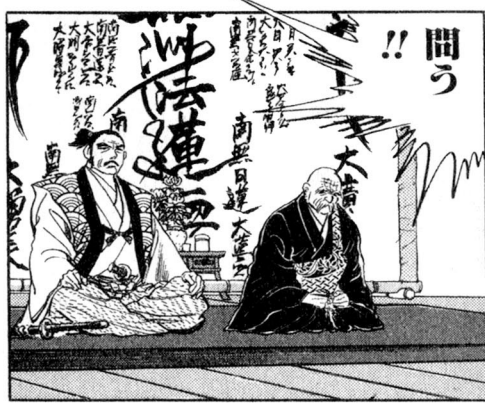
あつ





仏法は
道徳の
道具に
あらず

仏が何を基準に
人を救うか
それは仏の
勝手なり!!



!! 問う

南無日蓮大菩薩
南無妙法蓮華經
南無阿彌陀佛
南無觀世音菩薩
南無地藏菩薩
南無文殊菩薩
南無普賢菩薩
南無大勢至菩薩
南無虚空藏菩薩
南無持世菩薩
南無寶勝菩薩
南無寶華菩薩
南無寶眼菩薩
南無寶相菩薩
南無寶印菩薩
南無寶王菩薩
南無寶藏菩薩
南無寶鏡菩薩
南無寶珠菩薩
南無寶鬘菩薩
南無寶冠菩薩
南無寶璎菩薩
南無寶釧菩薩
南無寶環菩薩
南無寶釧菩薩
南無寶環菩薩
南無寶釧菩薩
南無寶環菩薩



木剣で
けっこう

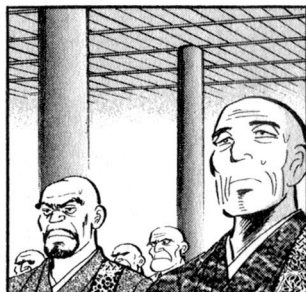




さて
其の後は
死ぬばかり!!



食って
糞して
寝て起きて



女体とは!!

僧に
問う







如何にして
なりけるか



何度も答えさすな!
生まれついた時から
仏じや

死ぬるまで
おのれの仏の道を
歩むまでの事!!
御坊 この妙覚寺一の
秀才でありながら



仏法の
極意は



なぜ
女体を
答えぬ



四十を過ぎて
未だに
小坊主のケツしか
知らぬか

一切は

!! 完全である



ゆえに
自分の信ずる
対極にある
事も真実

おのれにとって
真実は
すべて半分
という事だ…



猛き黄金の国 道三 ①

